テビムブラ + CapeOX療法（末梢）

大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを3週間毎繰り返します。

薬剤名	外観	液色	薬効	←——— 1クール ——→ 第1日目	2～14日	15～21日
① 生食注		無色	治療前の流しです。	↓ 15分・点滴	お休み	お休み
② テビムブラ注 ®(チスレリズマブ)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 30～60分・点滴		
③ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴		
④ グラニセトロンバッグ デカドロン注		無色	むかつき、吐き気及びお薬の過敏症を抑えます。	↓ 15分・点滴		
⑤ オキサリプラチン注 ®(オキサリプラチン)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 2時間・点滴		
⑥ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 全開・点滴		
カペシタビン錠 ®(カペシタビン)	⬭		細胞増殖を抑えます。	↓	1日2回 14日間・内服（第1日目夕より開始）	お休み

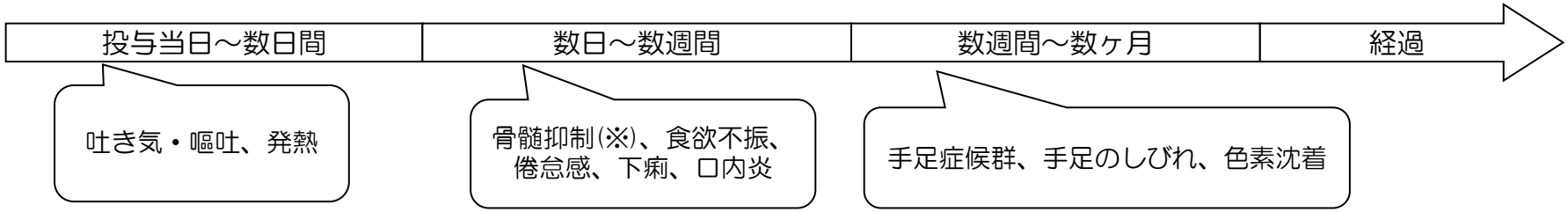
※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。
※また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。
お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。
このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。
点滴後に持続的に手や足、口の周りがしびれたり、喉が締め付けられる感覚が続くことがあります。
これらの症状は冷たいものに触れると悪化します。
冷たい飲み物や氷の使用を避け、体を冷やさないようにしましょう。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。
また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。
骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

【注意が必要な副作用】

次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

骨髄抑制　：★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、
　鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
過敏症　：★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
消化器症状　：★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
心障害　：★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頚部の締付け、圧迫感、冷汗
腎障害　：★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
肝障害　：★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
脳障害　：★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、
　うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
肺障害　：★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
手足症候群　：★手のひらや足の裏がぴりぴりする、指先の感覚異常、皮膚や爪の変色
血栓　：★意識を失いそうになる、身体の麻痺、ろれつがまわらない、激しいめまい、
　胸が痛む・締付けられる感じ、足がむくむ・痛む、突然の息切れ
下痢・脱水　：★口の渇き、手足のふるえ、過呼吸、重度の下痢、意識障害(時に昏睡)
末梢神経障害：★手、足や口唇周囲部の感覚異常又は知覚の変化、咽頭喉頭感覚異常
視覚障害　：★視力低下、視野異常、色覚異常

連絡先　大津赤十字病院
TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00　受診されている診療科
平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日　救急外来

皮膚症状に対する治療薬について

グレード1



皮膚の紅斑と知覚過敏はあるが、無痛性

グレード2



腫脹を伴った紅斑で疼痛を伴うが日常生活に問題なし

グレード2



腫脹を伴った紅斑で疼痛を伴うが歩行に問題なし

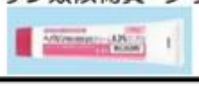
グレード3



亀裂、潰瘍等による強い痛みで歩行困難となる

ゼローダ適正使用ガイドより抜粋

★以下のお薬は、皮膚の症状を予防するためのものです。
治療のお薬が始まったら、一緒に使い始めて下さい。

分類	医薬品名	用法用量
保湿薬	ヘパリン類似物質®クリーム 	1日6回 手のひら・足のうらの保湿

★以下のお薬は、皮膚の症状が出てきたら使用して下さい。

分類	医薬品名	用法用量
ステロイド薬	アンテベート®軟膏 	1日2回 手のひら・足のうらに 赤み・痛みが出た時

★お薬を使用する際の注意点

- ○ 2種類の外用薬が処方されますので、使用部位や回数を間違えないようにしましょう。
- ○ 外用薬を重ねて塗る場合、保湿薬→ステロイド薬の順番で塗りましょう。
- ○ 別に医師の指示がある場合は、指示に従ってお薬をご使用ください。

外用薬の塗り方（単純塗布法）

★ポイント

- ○ 外用薬を塗る時は、必ず手を洗いましょう。
- ○ 狭い患部に塗る時は、指の腹部を使い、広い患部には手のひらを使います。
- ○ お薬をすり込むのではなく、皮膚に刺激を与えないようにやさしく塗りましょう。

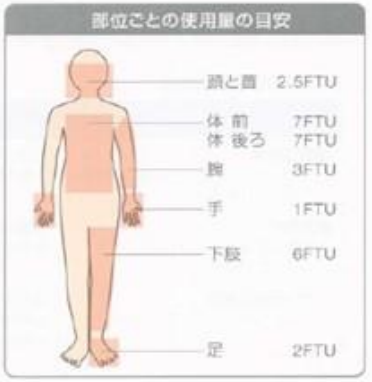
ステロイド薬
指の腹でお薬をとり、患部に薄く塗り広げるように塗ります。

保湿薬
手にとり、塗る部分に点在させます。指先ではなく、手のひらを使って、
やさしく丁寧に、出来るだけ広い範囲に塗ります。

外用薬の塗布量

- ○ 外用薬の塗布量を表す単位として[FTU]が使われています。
- ○ 1FTUとは軟膏剤・クリーム剤は人差し指の先端から第一関節まで絞り出した量、
  ローション剤の場合は手のひらに1円玉大に出した量を表します。
- ○ 1FTUで大人の手のひら2枚分に相当する面積を塗布することができます。





【免疫チェックポイント阻害薬投与中に気をつける症状】

がん免疫療法の一つである免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び働きかけることによってがん細胞への攻撃力を高めます。この免疫の作用が過剰に働きすぎることで副作用が起こる可能性があります。
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。
あらかじめ副作用の種類や症状を知ることで、副作用の早期発見と対処につながります。
安心して治療を継続するためにも、以下に記載している症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

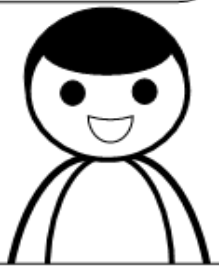
□ 息切れ、息が苦しい
□ 空咳（痰がない咳）
□ 発熱
・・・**風邪によく似た症状**です.
間質性肺疾患の
可能性があります。

□ いつもより排便回数が多い
□ 血便
□ 黒い便が出る
□ 腹痛を伴う下痢
□ 吐き気・嘔吐
・・・**大腸炎**の可能性があります。

□ 皮膚がかゆい
□ 発疹が出る
□ ひどい口内炎
□ 水ぶくれが出る
・・・**皮膚障害**の可能性があります。

□ 皮膚や白目が黄色くなる
□ 体のだるさ
□ 吐き気
・・・**肝障害**の可能性があります。

□ いつもより疲れやすい
□ からだがだるい（倦怠感）
□ 体重の増減がある
□ 気力の低下
・・・**甲状腺・下垂体・副腎など内分泌異常**の確認が必要です.



この他にも気になる症状があれば、医師または薬剤師に申し出てく

□ 手足に力が入らない
□ ものが二重に見える
□ ろれつが回らない
□ 呼吸が苦しい
□食べ物がうまく飲み込めない
・・・**重症筋無力症、筋炎**の可能性があります。

□ 水をいつもより多く飲む（水分をとってもすぐにのどが渇く）
□ のどが渇く
□ 尿が増える
・・・**１型糖尿病**の可能性があります。

連絡先 大津赤十字病院
TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00 受診されている診療科
平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日 救急外来

□ 手足に力が入らない
□ しびれ
□ 疲れやすさ
□ 痛み・感覚が鈍くなる
□ ものがつかみにくい
・・・**神経障害**の可能性があります。